

セーフティプロモーションスクール認証申請書

Safety Promotion School Designation  
application



河内長野市立加賀田小学校  
Kagata Elementary School

## 目次

学校概要 .....	3
セーフティプロモーションスクールの7つの指標 .....	5
指標1 .....	6
指標2 .....	6
指標3 .....	7
指標4 .....	8
指標5 .....	10
指標6 .....	12
指標7 .....	13
 <b>【写真資料】</b>	
安全管理 .....	15
安全教育 .....	16
安全連携 .....	17
資料：本校におけるケガの分析（保健室より） .....	18

## 河内長野市立加賀田小学校の概要

### 【沿革史】

明治 6年 10月 14日 加賀田村宮ノ段旧泉福寺を営繕し、河州第106番小学として創立。

明治20年 4月 1日 小学校令により尋常小学校設置。加賀田尋常小学校と改称。

明治40年 5月 14日 宮ノ段泉福寺跡の校舎から、新校舎（現在JA）に移転。

昭和11年 2月 20日 加賀田568の1番地（現在位置）に竣工の新校舎に移転。

昭和16年 4月 1日 加賀田国民学校と改称。初等科・高等科設置。

昭和22年 4月 1日 学校教育法により加賀田村立小学校と改称。高等科廃止。

昭和28年 10月 14日 創立80周年記念式。

昭和48年 10月 14日 創立100周年記念碑除幕式。同記念式。同記念展示会。

昭和51年 4月 2日 鉄筋新校舎（北校舎）・体育館使用開始。

昭和56年 8月 26日 石仏小学校の校舎完成により新校舎に移転。

平成 8年 10月 パソコン教室設置。

平成13年 3月 ビオトープ完成。バリアフリー工事完了。

平成14年 3月 防犯カメラ・センサーの設置。

平成15年 11月 8日 創立130周年記念行事

平成18年 2月 校内LAN整備

令和 5年 11月 150周年記念事業

### 【本校周辺地図】

〒586-0071 大阪府河内長野市加賀田 568-1

TEL 0721-62-2916

FAX 0721-62-2994



### 【環境】

大阪府河内長野市加賀田は、自然環境に恵まれた地域であり、豊かな自然が点在している。加賀田周辺は、広大な田園地帯が広がり、美しい風景が広がっている。農作物の栽培が盛んであり、稲作や野菜の栽培などが行われている。四季折々の風景が楽しめるため、農村風景や田園風景を楽しむことができる。本校は、住宅地同様、山林を切り開いて造成された場所（海拔 140m）にある。東経 135 度 33 分 56 秒、北緯 34 度 25 分 15 秒の位置にある。校地は総面積 18.943 m<sup>2</sup>（運動場 10,919 m<sup>2</sup>、建物敷地 8.024 m<sup>2</sup>、）。令和 6 年度の公民館との複合化に向けて改築中である。

### 【加賀田地域について】

町村制施行以前の加賀田村にあたり、北から加塩、車作、神納（こうの）、中ノ組、上ノ組、中谷で構成されている。加賀田地区の中心地として、加賀田川沿いに村落を形成していたが、現在は周辺に多くの新興住宅地を有している。かつては青葉台や大矢船などの地区も含まれていたが、現在では宅地開発の行われていない地区のみを指す。主な施設、旧跡などとして次のようなものがある。岩湧寺、加賀田神社、伝大江時親邸跡、河内長野市立加賀田小学校、加賀田公民館、JA 大阪南 加賀田支店、ダイヤモンドトレール など。

### 【教職員数と在籍児童】

教職員数

在籍児童数（令和6年7月23日現在）

職名	人数
校長	1
教頭	1
教諭	20
養護教諭	1
事務	1
支援員	1
校務員	4
給食配膳員	3

学年	学級数	児童数
1年	1	26
2年	1	32
3年	1	25
4年	2	44
5年	1	37
6年	1	37
支援学級	4	(18)
合計	11	201

### 【教育目標及びめざす子ども像】

#### （1）教育目標

心豊かにかがやく子 自ら学びがんばる子 健やかにたくましく生きる子 の育成

#### （2）めざす子ども像

心豊かにかがやく子

- ①互いの違いを認め合い、共に生きる心豊かな子。
- ②集団の一員として自覚し、自他の生命と人権を尊重する子。
- ③人のためになる活動をすることができる子。

みずから学びがんばる子

- ①自らの課題に積極的に取り組み、学び方を身につけた子。
- ②自分で考え、判断し、正しく行動する子。
- ③確かな学力を身につけた子。

健やかにたくましく  
生きる子

- ①進んで健康・体力づくりに取り組み、自分らしさをのぼす子。
- ②ルールやマナーを身につけ、守り続けていく子。
- ③社会や世界、地球環境にも目を向ける子。

(3) 教育スローガン 安心・安全・命だいじ

セーフティプロモーションスクール（SPS）の7つの指標

指標 1	学校内に、学校安全に関わる活動の中核を担う「学校安全コーディネーター」等を設置し、その「学校安全コーディネーター」を中心とする学校安全推進のための委員会（以下「学校安全委員会」）が設置されている。なお学校安全委員会は、「学校安全コーディネーター」のほか、校長・教頭等の学校管理職を含む教職員の代表、児童生徒の代表、PTA 代表、学校を管轄する地域の警察署・消防署の代表、学校のある地域自治会の代表、スクールガードリーダー等の学校ボランティアの代表等から構成 されていることが望ましい。
指標 2	学校において、「生活安全」・「災害安全」・「交通安全」の分野ごとに、「安全教育」・「安全管理」・「安全連携」の領域（「3領域」と表記）の学校安全推進のための「中期目標・中期計画（3年間程度）」が立案されている。
指標 3	学校安全委員会において、「中期目標・中期計画」に基づいた学校独自の学校安全推進のための「年間計画」が策定されている。
指標 4	策定された「年間計画」に基づいて、学校安全委員会を中心に、学校関係者が参加して、学校安全推進のための活動が年間を通じて継続的に実践されている。
指標 5	学校安全委員会において、実践された学校安全推進に関わる活動の成果が定期的に報告され、それぞれ明確な根拠を基に活動に対する分析と評価が行われている。
指標 6	学校安全委員会における次年度の「年間計画」の策定にあたって、それまでの活動成果の分析と評価を参考に、当該校における学校安全に関わる実践課題の明確化と「年間計画」の改善が取り組まれている。
指標 7	学校安全推進に関わる活動の成果が、当該学校関係者に共有されるよう広報するとともに、「協働」の理念に基づいて、国内外の学校への積極的な活動成果の公開と新たな情報の収集に努めている。

指標 1：学校安全委員会

区分	役職
教職員代表	校長・教頭・教務主任・学校安全コーディネーター・養護教諭
児童代表	保健委員会
P T A 代表	P T A 会長・P T A 本部役員
警察関係者	羽曳野警察署スクールサポーター
消防関係者	河内長野消防署
地域代表	学校運営協議会委員・児童の見守り隊
学校関係	河内長野市立加賀田中学校長

指標 2：セーフティプロモーションスクール活動【中期目標・中期計画】

分野	中期目標・中期計画
生活安全・ 外傷予防・ 犯罪予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養護教諭によるけがの統計に基づいた傷害発生箇所及び、児童と教員が行う安全点検による校内の危険箇所の把握と校内環境の改善に努める。→けがの発生件数を前年度と比べ10%減少する。</li> <li>・教員による安全を意識した安全点検を実施する。(隔月)</li> <li>・校内にカーブミラーを設置し、見方と活用の仕方を指導する。(令和6年ミラー設置完了)</li> <li>・安全教育を通して児童が自ら危険を予測し、回避できる能力を育成する。→安心安全命だいじのスローガンをもとに安全教育を推進する。→全児童の防犯ブザー着用率を3年間で10%アップする。→1.2年生での防犯教室による学習、5年生での救命救急の学習を行う。</li> </ul>
災害安全・ 地震対策・ 風水雪害対策・ 火災予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1日の学校安全の日に避難訓練や安全教育を実施する。</li> <li>・全校朝会の校長の講話は「安心安全命だいじ」のキーワードに沿った内容を話す。・年度初めに一般財団法人大阪建築防災センターに申し込みをし、「みんなで考えよう」の副読本を安全教育に活用する。</li> <li>・教職員・児童・保護者・地域が参加した合同避難訓練を実施する。・大規模地震時(震度5弱以上)の避難訓練や火災を想定した避難訓練や土砂災害避難訓練や不審者対応訓練を年5回行う。</li> <li>・想定外訓練(行方不明、避難経路、発生日時)を実施する。</li> <li>・各種団体及び、関係諸機関と連携した研修や避難訓練を行う。</li> </ul>
交通安全・ 被害予防・ 加害予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車安全教室と交通安全教室を学年に応じて実施する。</li> <li>・警察などの関係諸機関の協力を得て専門的な内容も学ぶようにする。</li> <li>・PTA 活動において年間で当番を決め、見守り活動を定期的に行うことで登下校の安全を守る。(学期に3回程度)</li> <li>・安全指導の充実を図り、児童が自ら危険を予測し、回避できる能力を育成</li> </ul>

	<p>する。</p> <p>・副読本等を用いて安全指導を実施する。(学校安全の日)</p>
--	---

指標3：セーフティプロモーションスクール活動の年間計画（令和6年度）

分野	領域	年間計画
生活安全・ 外傷予防・ 犯罪予防	安全教育	<p>○外傷の原因や発生場所を振り返ることで、自ら進んで外傷予防に取り組もうとする意識を高める。校内地図で把握する。</p> <p>○毎月1日に実施している学校安全の日の安全教育で、一人一人の危険予知能力及び、危険回避能力を育成する。(副読本の活用)</p> <p>○廊下の歩き方や休み時間の約束について生徒指導部会を中心に企画・提案し、全校児童が校内で安全に過ごせるようにする。</p> <p>○不審者対応研修を行うことにより、緊急事態に落ち着いて対応できる力を身につける。</p> <p>○防犯ブザーや登校班の状況の確認をし、児童が安全に過ごせるようにする。</p>
	安全管理	<p>○教室や廊下、運動場、体育館など校内の危険箇所の点検を行う。</p> <p>○緊急時の救急・消防・警察への連絡ポイントを職員の目につく場所に掲示し、適宜確認をしている。</p> <p>○戸締りを見渡せるようにカーテンを開けたり、休み時間や放課後に校内を巡回したりして、危険な行動を防いだり指導したりする。</p> <p>○メール配信システムを活用し、学校と保護者との連携が迅速に行えるようにする。</p> <p>○食物アレルギー対応実地訓練を行い、緊急時には全教員がエピペンを使用できるように備える。</p> <p>○各教室に緊急時タイムレコード表を設置。</p> <p>○どの職員が給食指導に入ってもアレルギー対応ができるように、統一した位置・色でアレルギー対応表を設置している。</p>
	安全連携	<p>○救急救命講習・訓練を通して教職員間の救命技術を高める。</p> <p>○不審者対応マニュアルを制定する。</p>

		<p>○PTA・CS・地域を巻き込んだ訓練を実施する。</p> <p>○学校保健委員会で学校の取組を報告し、外部からの評価を受ける。</p>
<p>災害安全 ・ 地震対策 ・ 風水雪害 対 策 ・火災予 防</p>	<p>安全教育</p>	<p>○地震・火災・土砂災害の避難訓練を年5回実施し、児童の防災技術を高める。</p> <p>○地区別児童会で下校ルートを確認したり、危険箇所の共通理解をしたりして災害時のために高学年のリーダーシップを育む。</p>
	<p>安全管理</p>	<p>○防災マニュアルに基づき、教職員がそれぞれの役割を果たす。</p> <p>○教員による年6回の校内安全点検をする。</p> <p>○災害時における保護者への連絡体制を確実なものにする。</p>
	<p>安全連携</p>	<p>○救急救命講習・訓練を通して教職員間の救命技術を高める。</p> <p>○地域や河内長野消防署、河内長野警察署、市役所と連携した安全教育を実施する。</p>
<p>交通安全 ・ 被害予防 ・ 加害予防</p>	<p>安全教育</p>	<p>○安全に登下校しようとする態度を育成する。</p> <p>○交通安全教室を学年に応じて実施する。</p>
	<p>安全管理</p>	<p>○見守り隊の方が中心となり、登下校時に校区内を巡回し、児童の安全を確保する。</p> <p>○安全な経路を通学路として定める。</p>
	<p>安全連携</p>	<p>○PTA、学校運営協議会、見守り隊、関係各機関と連携し、地域の情報を共通理解する。</p> <p>○保護者や地域の協力を得て登下校の安全が確保されるように努める。</p> <p>○河内長野警察署と連携し、児童の目線を取り入れた安全教育を実施する。</p>

指標4：セーフティプロモーションスクール活動の実践（令和5年度～令和6年度）

分野	領域	活動・実践の内容
<p>生活安全 ・ 外傷予防 ・ 犯罪予防</p>	<p>安全教育</p>	<p>○けがをした児童がけがの種別発生場所を保健室前の平面図に記録した。</p> <p>○安全学習・安全指導の授業（副読本の活用で月1回）で危険予知能力や危険回避能力を高めるために、様々な危険から身を守るためにはどのような行動をとるべきかを考えた。</p>

		<p>○保健委員会の提案によって全校朝会で校内のけが調べの考察を発表した。(2/20)</p> <p>○授業中に不審者が侵入したという想定での避難訓練を行った。(6/8 参加児童204名)5年生は消防署職員による救命救急の学習を行った。(9/11)</p>
	安全管理	<p>○校内で安全に学校生活を送ることができるように教室内の配置を考慮した。</p> <p>○校内におけるけがが発生についての考察を作成し、保健委員会が中心となり校内に掲示し啓発活動を行った。(2/7)</p> <p>○毎月の生活目標に「校舎内を正しく歩こう。」を通年で設定し、教室、廊下等で安全に過ごせるようにした。(通年)</p> <p>○学校と保護者との連携を図るために、メール配信システムを活用した。(通年)</p> <p>○給食中に児童がアナフィラキシーショックを起こすことを想定したアレルギー対応実地訓練を教職員が行った。(5/23)○給食のアレルギー対応は、担当職員に加え、職員室からの連絡も給食前に必ず行ダブルチェックを実施した。(通年)</p> <p>○不審者対応訓練で、不審者役に想定外の動きをしてもらい臨機応変に対応することの重要性を訓練した。(5/1)</p>
	安全連携	<p>○救急救命講習及び訓練を行い、救命スキルを向上した。(6/5)</p> <p>○スクールサポーターに不審者役を依頼し、学校に侵入してきたことを想定し、不審者取り押さえから警察へ引き渡すまでの実地訓練を行った。また、CSのメンバーにも訓練に参加していただいた。(7/5 参加児童197名)</p> <p>○保護者や児童にICTを活用した学校アンケート(QRコードを用いたGoogleフォームへのリンク紹介)を行い、教育活動に対する調査を行った。(6/1)</p>
災害安全・地震対策・風水雪害対策・火災予防	安全教育	<p>○児童と教職員が、地震や火災、土砂災害が発生したという想定で一次避難行動から避難経路の確認、その後二次避難行動をとる避難訓練を行った。(地震10/2 火災12/1 土砂災害11/1 参加児童202名・198名・193名)</p> <p>○副読本を活用し、朝の講話の時間及び、学級活動の時間に防災に関する教育に取り組んだ。(学校安全の日)</p> <p>○地区別児童会の時間を設定し、年に2回一斉下校を実施し</p>

		<p>た。(5/17.2/22 参加児童206名・203名)</p> <p>○縦割りグループで廊下歩行の練習(歩行訓練)を実施した。(5/22~6/2)</p> <p>○スマホ安全教室を実施した。(2/16)</p>
	安全管理	<p>○防災マニュアルを作成し、それに基づき、地震・火災・風水害の発生時に対応するための役割を確認した。(4/2)</p> <p>○安全点検をもとに、業者による防火扉や非常ベル等の点検を行った。(7/23)</p> <p>○災害発生時に迅速に保護者に連絡がとれる体制を整えた。</p> <p>○水泳学習指導の期間中、毎時間の指導内容及び安全点検結果、水位の調節等の管理状況をプール日誌に記入した。</p>
	安全連携	<p>○河内長野消防署と連携して普通救急救命講習を実施した。(6/5)</p> <p>○ゲストティチャーとしてPTA会長を招き、避難訓練の講話を実施した。(12/1)</p>
交通安全・被害予防・加害予防	安全教育	<p>○河内長野警察署の協力により、事前にGoogleフォームで児童アンケートを実施し、児童の目線を取り入れた講話を依頼し、本校の特色に合わせた交通安全教室を実施した。(6/3)</p>
	安全管理	<p>○教職員が通学路を巡回し、安全を確保した。(学期初め3日間)</p>
	安全連携	<p>○見守り隊やスクールサポーター、PTAが決められた場所に立って児童の登下校時の安全確保を行った。(毎日)</p> <p>○見守り隊朝会を実施した。(6/11)</p>

指標5：セーフティプロモーションスクール活動の評価(令和5年度)

分野	領域	評価
生活安全・外傷予防・犯罪予防	安全教育	<p>○これまでの実践を踏まえた安全学習・安全指導におけるカリキュラムを学年毎に系統立てて構築することができた。</p> <p>○けがの起こる原因や状況が明確になり、けがの発生件数が減少した。(p17参照)</p> <p>○定期的に生活安全特別指導部会を開き、現状の意見交流や実践に対する振り返りを行い、新しい企画や取組改善について意見を出し合った。</p>
	安全管理	<p>○定期的に行う安全点検に基づいて、危険箇所の改修や修繕を可能な範囲で行った。</p>

		<p>○生活指導上の課題があった場合、教職員全体で情報を共有し対応した。</p> <p>○不審者情報を受け、教員が一斉集団下校で引率したり、校区の見回りパトロールを行ったりした。</p>
	安全連携	<p>○救急救命講習及び訓練を受け、救命スキルの維持・向上を図った。</p> <p>○不審者対応避難訓練の実践を振り返り、今後の訓練のさらなる充実を図ることについて協議した。</p> <p>○感染症流行の際に、校医や教育委員会と連携し対策をとった。</p>
災害安全 ・ 地震対策 ・ 風水雪害対策 ・ 火災予防	安全教育	<p>○これまでの実践を踏まえた安全学習・安全指導におけるカリキュラムを学年毎に系統立てて構築することができた。</p> <p>○地震・火災・不審者対応の避難訓練を年間計5回実施した。</p> <p>○児童が避難活動中に行方不明になる・避難経路が通れないなど様々な場面を想定した訓練を実施した。</p> <p>○発生日時を知らせない避難訓練を実施した。</p> <p>○定期的に生活安全指導部会を開き、現状の意見交流や実践に対する振り返りを行い、新しい企画や取組改善の為の意見を出し合った。</p>
	安全管理	<p>○防災マニュアルを作成し、年度初めの安全の日に周知徹底するとともに、1年を通して訓練や点検を実施した。</p> <p>○毎回の避難訓練後の反省を教職員も振り返り、記録・評価を行った。</p> <p>○水泳学習指導期間中の指導内容及び安全点検を記録した。</p>
	安全連携	<p>○河内長野消防署等、関係諸機関・各種団体との連携内容の検討を行った。</p> <p>○業者及び関係諸機関と連携し、水泳学習実施前の設備点検を行った。</p> <p>○保護者・教職員による学校評価を行った。</p>
交通安全 ・ 被害予防 ・ 加害予防	安全教育	<p>○これまでの実践を踏まえた安全学習・安全指導におけるカリキュラムを学年毎に系統立てて構築することができた。</p> <p>○全学年で交通安全教室を実施したり、学級指導で副読本を活用したりして、登下校の安全学習ができた。</p> <p>○定期的に生活安全指導部会を開き、現状の意見交流や実践に対する振り返りを行い、新しい企画や取組改善の為の意見を出し合った。</p>

	安全管理	<p>○河内長野市内の交通事故の分析結果を踏まえ、朝会や学級活動の時間に指導した。</p> <p>○教職員による通学路の巡回を行った。</p> <p>○見守り隊朝会を行い、地域との連帯を深めた。</p>
	安全連携	<p>○見守り隊や PTA による登下校時の見守りを行った。</p> <p>○職員による登下校時の安全パトロールを実施した。</p>

指標 6：セーフティプロモーションスクール活動の改善（令和 5 年度）

分野	領域	課題への対応と改善
生活安全 ・ 外傷予防 ・ 犯罪予防	安全教育	<p>○けがや防犯について、各学年・学級でカリキュラムに沿って計画的に充実した指導を行う。</p> <p>○安全教育におけるカリキュラムの構築、見直し・改善を行う。</p> <p>○月 1 回の生活安全特別指導部会による評価を基にして、教育活動を改善する。</p>
	安全管理	<p>○学校安全の日をより際立たせ、児童自身の安全意識を維持・継続するための活動を行う。</p> <p>○校内でのけが発生状況を分析し、けがを減らすための工夫をする。</p>
	安全連携	<p>○登下校時の児童の安全指導を徹底する。</p> <p>○職員会議にて、関係諸機関・各種団体・PTA 等との連携内容を検討し、防犯パトロールの企画・運営をめざす。</p> <p>○不審者はどこに出るかわからない設定にすることで、全職員に危機感をもって訓練をしてもらえるように改善する。</p> <p>○不審者発見から対応職員が集まるまでの時間をより短くすることに課題があった。→ブザーを携帯しながら対応することや、音の響くところにブザーを放置することで改善を図っている。</p>
災害安全 ・ 地震対策 ・ 風水雪害対策 ・ 火災予防	安全教育	<p>○安全教育におけるカリキュラムの構築、見直し・改善を行う。</p> <p>○月 1 回の生活安全指導部会による評価を基にして、教育活動を改善する。</p> <p>○防災等に関する教材開発を行う。</p> <p>○避難訓練の実施を想定外で実施する。(日付・時間を伝え</p>

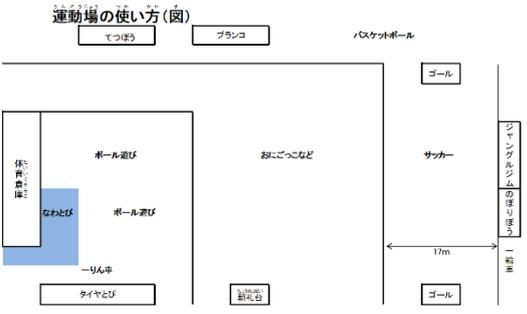
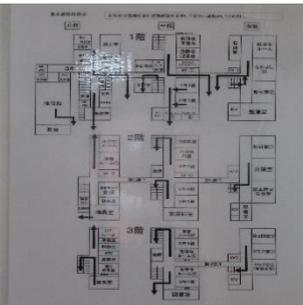
		ずに訓練を行う。) →令和4年の反省をもとに令和5年に実施することができた。
	安全管理	○安全点検を基にして災害時に危険になる箇所を改善する。 ○反省・映像記録を基に避難訓練を改善する。
	安全連携	○生活安全特別指導部会において、避難訓練の時期及び関係諸機関・各種団体との連携内容を検討する。
交通安全・被害予防・加害予防	安全教育	○安全教育におけるカリキュラムの構築、再編成・改定を行う。 ○月1回の生活安全特別指導部会による評価を基にして、教育活動を改善する。 ○学習の成果をもとに主体的に動ける児童を育成する。
	安全管理	○生活安全指導部会において、安全管理の検討を行う。 ○見守り隊と情報交換をする機会を設定する。
	安全連携	○職員会議にて、関係諸機関・各種団体・PTA等との連携内容を検討し安全指導の充実を図る。

指標7：セーフティプロモーションスクール活動の共有（令和5年度）

分野	領域	成果の共有と協働
生活安全・外傷予防・犯罪予防	安全教育	○学校運営協議会において、本校の安全に関する取組について共有した。今後新しく取り組める内容は実践していく事を共有した。 ○学校安全コーディネーターが学校外の安全教育研修に参加し、それを職員に共有した。 ○校内でのケガの発生状況を保健委員会が全校児童へ発表した。
	安全管理	○生活安全特別指導部会を定期的に関き、安全についての情報共有を行った。 ○児童の傷害発生状況を教職員間で共有した。
	安全連携	○学校運営協議会で地域の安全について情報共有を行った。 ○児童の傷害発生状況を学校保健委員会で学校、保護者、教職員で共有した。 ○不審者対応避難訓練を実施した後、振り返りを行い、今

		後の訓練の在り方について協議した。
災害安全 ・ 地震対策 ・ 風水雪害 対 策 ・火災予 防	安全教育	○6年生の修学旅行で神戸の防災センターを見学した。総合的な学習の時間で防災についてまとめた。 ○中学校区成果発表会において、本校の安全に関する取組について発表 した。
	安全管理	○中学校区の交流会で本校の取組について報告した。 ○今年度の本校の取組と教職員、保護者による学校評価について職員会議等で報告・交流した。
	安全連携	○本校の取組について学校運営協議会において情報を共有した。 ○管理職が月1回の PTA との運営委員会で情報交換を行った。 ○河内長野消防署と河内長野警察署と定期的に防災について情報交換を行った。
交通安全 ・ 被害予防 ・ 加害予防	安全教育	○学校運営協議会にて安全教育に関する本校の取り組みを情報共有した。 ○中学校区成果発表会において、SPS 認証校の石仏小学校の安全に関する取組について学んだ。
	安全管理	○学校運営協議会で本校の取組について報告した。 ○今年度の本校の取組と教職員、保護者による学校評価について職員会 議等で報告・交流した。
	安全連携	○本校の取組について学校運営協議会において情報を共有した。 ○PTA 会議において、登下校の安全について情報共有を行った。

写真：安全管理（対人管理及び対物管理）

<p>AED ボックス</p> 	<p>給食アレルギー対応</p> <p>個人情報保護のため写真を抜いています。</p>
<p>エピペン</p> <p>フロー図</p> 	<p>運動場の使い方図</p> 
<p>委員会活動による啓発ポスター</p> 	<p>避難経路図掲示</p> 
<p>廊下交差点・足形</p> 	<p>校舎内カーブミラー</p> 

写真：安全教育（安全学習及び安全指導）

<p>安全学習（学校安全の日）</p> <p>個人情報保護のため写真を抜いています。</p>	<p>けがが発生についての考察（保健委員会）</p> 
<p>避難訓練（火災） 想定外の避難経路・行方不明者</p> <p>個人情報保護のため写真を抜いています。</p>	<p>避難訓練（不審者） 不審者の想定外の動き</p> <p>個人情報保護のため写真を抜いています。</p>
<p>避難訓練（土砂災害）</p> <p>個人情報保護のため写真を抜いています。</p>	<p>避難訓練（地震） 休み時間での実施</p> <p>個人情報保護のため写真を抜いています。</p>
<p>交通安全教室（PTA・CS 参加）</p> <p>個人情報保護のため写真を抜いています。</p>	<p>廊下歩行訓練</p> <p>個人情報保護のため写真を抜いています。</p>

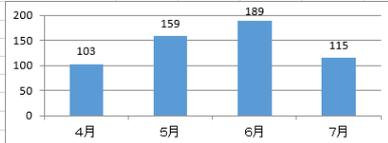
写真：安全連帯（PTA 活動及び地域との諸団体連帯）

<p>エピペン講習会</p> <p>個人情報保護のため写真を抜いています。</p>	<p>心肺蘇生法</p> <p>個人情報保護のため写真を抜いています。</p>
<p>防火扉・非常ベル等点検</p> 	<p>救命救急講習（5年）</p> <p>個人情報保護のため写真を抜いています。</p>
<p>不審者対応研修</p> 	<p>校内速度表示（CS 製作）</p> 
<p>避難訓練（地震） 想定外の避難経路・行方不明者</p> <p>ゲストティーチャー（PTA 会長・CS 会長）</p> <p>個人情報保護のため写真を抜いています。</p>	<p>見守り隊朝会（PTA・地域）</p> <p>個人情報保護のため写真を抜いています。</p>

資料：本校におけるケガの分析（保健室より）

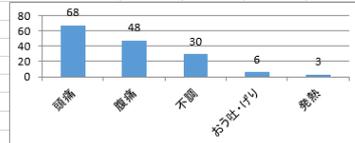
令和4年度 1学期 保健室利用統計

月	利用者数
4月	103
5月	159
6月	189
7月	115
合計	566
1日平均	8.0



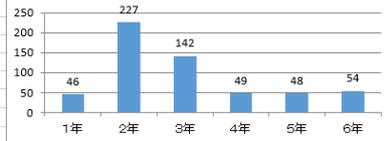
《 4～7月 病気別集計 》

頭痛	68
腰痛	48
不調	30
おう吐・下痢	6
発熱	3
病気合計	155



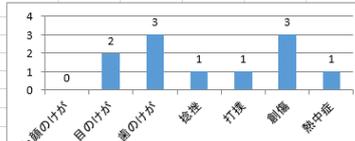
《 4～7月学年別 利用者数 》

1年	46
2年	227
3年	142
4年	49
5年	48
6年	54



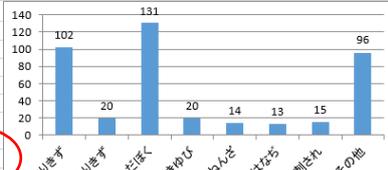
《 4～7月 学校管理下 病院受診件数 》

頭・顔のけが	0
目のけが	2
歯のけが	3
捻挫	1
打撲	1
創傷	3
熱中症	1
合計	11



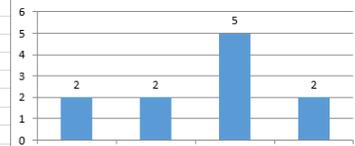
《 4～7月けが別 集計 》

すりきず	102
きりきず	20
だぼく	131
つきゆび	20
ねんざ	14
はなぢ	13
虫刺され	15
その他	96
けが合計	411



《 4～7月 月別 病院受診件数 》

月	件数
4月	2
5月	2
6月	5
7月	2
合計	11



9

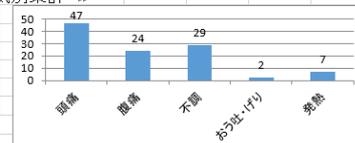
令和5年度 1学期 保健室利用統計

月	利用者数
4月	97
5月	142
6月	152
7月	86
合計	457
1日平均	6.4



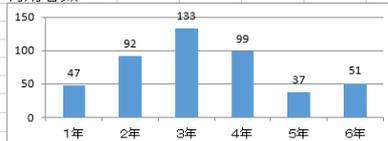
《 4～7月 病気別集計 》

頭痛	47
腰痛	24
不調	29
おう吐・下痢	2
発熱	7
病気合計	109



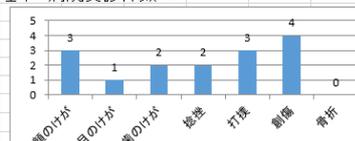
《 4～7月学年別 利用者数 》

1年	47
2年	92
3年	133
4年	99
5年	37
6年	51



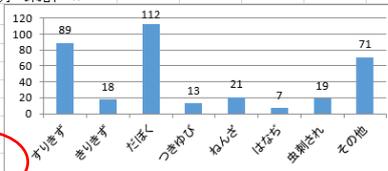
《 4～7月 学校管理下 病院受診件数 》

頭・顔のけが	3
目のけが	1
歯のけが	2
捻挫	2
打撲	3
創傷	4
骨折	0
合計	15



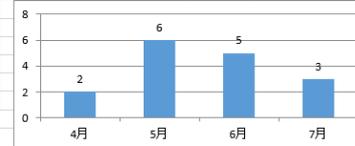
《 4～7月けが別 集計 》

すりきず	89
きりきず	18
だぼく	112
つきゆび	13
ねんざ	21
はなぢ	7
虫刺され	19
その他	71
けが合計	348



《 4～7月 月別 病院受診件数 》

月	件数
4月	2
5月	6
6月	5
7月	3
合計	15



8

